

安全データシート

作成日 2020年1月27日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	コロイダルグラファイト(水溶性)
供給者の会社名	日新EM株式会社
住所	東京都新宿区荒木町23番地9
電話番号	03-3355-3001
FAX番号	03-3353-2888
推奨用途及び使用上の制限	電子顕微鏡用導電性ペースト

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体 分類対象外 金属腐食性物質 分類できない
健康有害性	急性毒性(経口) 区分外 皮膚腐食性及び刺激性 区分2 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分1 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2
環境有害性	水生環境有害性(急性) 区分2 水生環境有害性(長期間) 区分2

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示

注意喚起語
危険有害性情報

危険
皮膚刺激
重篤な眼の損傷
臓器障害のおそれ
水生生物に毒性
長期的影響により水生生物に毒性

注意書き
安全対策

取り扱い注意事項をよく読み、理解してから取り扱う。
容器を密閉しておくこと。
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。
保護手袋・保護眼鏡・保護面を着用すること。
容器及び受器を接地すること。
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
粉塵・ミスト・蒸気などの吸入を避けること。
換気の良い場所でのみ使用する。
この製品を使用する前に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
粉塵・煙・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。
吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪いときは、医師の処置を受ける。

応急措置

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

廢棄

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
水	87.5-95%	H ₂ O	対象外	対象外	7732-18-5
グラファイト	2.5-10%	C	対象外	対象外	7782-42-5
アンモニア水	≤2.5%	NH ₄ OH	1-314	該当	1336-21-6

情報なし

救助者はゴム手袋等の保護具を着用する。

消火活動は風上より行い、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。

環境に対する注意事項		漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。 風上から作業し、風下の人を避難させる。 着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。 漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。 漏出物を直接河川や下水に流してはいけない。 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
回収・中和		漏出液は、密閉式の空容器にできるだけ回収し、回収できなかった場所は大量の水で洗い流す。
二次災害の防止策		付近の着火原となるものを速やかに取除くとともに消化剤を準備する。
7. 取扱い及び保管上の注意		
取扱い	技術的対策	取扱いは、換気の良い場所で行う。 発散した蒸気を吸い込まないようにする。 取扱いの都度、容器を密栓する。 保護手袋および保護眼鏡・保護面を着用すること。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、嗽をする。 熱・火花・裸火・高温の物のような着火原から遠ざけること。 一禁煙。
	注意事項	容器の破損、漏れがない事を確認し、衝撃、転倒、落下破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。
保管	技術的対策	直射日光を避け、換気の良い暗所で密栓した容器に保管する。
	適切な保管条件	熱・火花・裸火・高温のもののような着火原から遠ざけるこ 容器は密栓して冷暗所に保管する。
8. ばく露防止及び保護措置		
許容濃度	日本産業衛生学会 (2004年度版) ACGIH (2004年度版)	25ppm・・・アンモニアとして 2mg/m3・・・黒鉛粉末としての総粉塵として 25ppm(TWA)・・・アンモニアとして 2mg/m3(TWA)Graphite(all forms except graphite fibers)
設備対策		全体および局所排気のあることが望ましい。 本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャ ワーを設置すること。
保護具	呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具	呼吸用保護具(アンモニアガス用防毒マスク)を着用する。 保護手袋(ラバー製)を着用する。 保護眼鏡(側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)を着用する。 長袖作業衣を着用する。 必要に応じて保護面、保護長靴を着用する。
衛生対策		この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。 取扱い後はよく手を洗う。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 保護具は保護具点検表により定期的に点検する。
9. 物理的及び化学的性質		
外観	物理的状態 形状 色	液体 粘性液体 黒灰色 アンモニア臭 データなし
臭い 臭いのしきい(閾)値		

pH	データなし
融点・凝固点	水に準ずる
沸点	水に準ずる
初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	該当しない
可燃性	あり(黒鉛が乾燥状態にある場合)
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	データなし
燃焼性(固体、気体)	該当しない
燃焼又は爆発範囲	該当しない
蒸気圧	水に準ずる
蒸気密度(空気=1)	水に準ずる
比重(水=1)	1.0845
溶解度	水に混和する
n-オクタノール／水分配係数	データなし
自然発火温度	該当しない
分解温度	データなし
粘度(粘性率)	データなし
10. 安定性及び反応性	
化学的安定性	通常の条件においては安定である。
危険有害反応可能性	銅、銅合金、アルミニウムなどを腐食する場合がある。
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし
11. 有害性情報(2-プロパノール)	
皮膚腐食性	アンモニアを含有しているため、腐食性がある。
刺激性(皮膚、眼)	アンモニアを含有しているため、目・皮膚に対し刺激性があり、激しい痛み、薬症を引き起こすことがある。
感作性	データなし
急性毒性(50%致死量等を含む)	アンモニアとして 人 吸入 LCL0 5000ppm/5M
亜急性毒性	データなし
慢性毒性	目、鼻、気管等に慢性的刺激症状発生の原因になることがある。
がん原性	データなし
変異原性(微生物、染色体異常)	データなし
生殖毒性	データなし
催奇形性	データなし
その他(水と反応して有毒ガスを発生する等を含む)	データなし
12. 環境影響情報	
分解性	データなし
蓄積性	データなし
魚毒性	データなし
その他	排水に流すと黒く汚れを発生するため、流出させないこと。
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装		特別管理産業廃棄物のため、廃棄においては特に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の特別管理産業廃棄物処理基準に従うこと。 容器は、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意		
国際規則	US DOT Information IATA IMO	Proper shipping name:Not regulated Proper shipping name:Not regulated Proper shipping name:Not regulated
国内規制	Marine Pollutant 陸上規制 海上規制情報 航空規制情報	No 道路法の規定に従う。 船舶安全法/危険物船舶輸送及び貯蔵規則/船舶による危険物の運送基準等を定める告示に従う。 航空法/航空法施行規則/航空機による爆発物等の輸送基準を定める告示に従う。
特別の安全対策		危険物は当該危険物が転落し、又は危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。 危険物又は危険物を収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。 危険物の運搬中、危険物が著しく漏れる等災害が発生するおそれがある場合には、災害を防止するための応急措置を講ずると共に、もよりの消防機関その他の関係機関に通報すること。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
15. 適用法令		
労働安全衛生法		法第57条第1項 施行令第18条(名称等を表示すべき危険物及び有害物)別表第九(39 アンモニア) 法第57条の二 施行令第18条の二(名称等を通知すべき危険物及び有害物)別表第九(39 アンモニア)
消防法		特化則 第3類物質(アンモニア)
毒物及び劇物取締法		非該当
化学物質管理促進法(PRTR法)		非該当
下水道法		非該当
廃棄物処理法		該当
水質汚濁防止法		該当
16. その他の情報		
連絡先		日新EM株式会社
参考文献		Electron Microscopy Sciences製品SDS(2017.11.30) 日立化成株式会社 AB-1 SDS(2013.02.18)
その他		記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。